



川島地区 社協だより

第15号
発行日:平成29年10月
川島地区社会福祉協議会

大きくなつたら
何になる?
みんなに見守られ
小さな夢が少しずつ
膨らんでいくのね
母なる木曽川の
流れのように
ゆつたりと大きく
育つてほしい



- 5月20日 総会
- 8月6日 近隣ケア活動研修会
- ←8月10日 親子ふれあい映画会
- 10月 生涯学習発表会時の縁日
- 11月 一人暮らし高齢者配食サービス
- 12月 古稀・介護者の集い
- 12月 一人暮らし高齢者年賀状送付
- 随时 各地区三世代交流助成
- 随时 ボランティア団体等助成

平成29年度事業決まる
5月20日、川島地区社協の総会が開催され、「親子ふれあい映画会」など本年度の事業や予算がきまりました。

支え合いの街づくりを



会長 野田賢治

平素より、川島地区社協の活動にご尽力、ご理解いただきまして有り難うございます。団塊の世代が古稀を迎える、少子高齢化社会が益々進行し、孤独死・老々介護・認知症等深刻な社会問題が起きています。

今年社協が目指すのは「ささて、ささえられてみんなが主役のまちづくり」です。

お互いを気遣う近隣ケア活動やボランタリーハウスの充実、三世代ふれあい等の活動を通して、最近薄れがちな近隣住民ふれあいの輪を大きく広げて、あなたと私が、君と僕が、支え、支えられながら明るく元気な川島になればと思います。

色々な福祉活動のご支援をお願いすると共に、参加いただき、あなたが主役で川島社協を盛り上げていただければ有り難いです。宜しくお願い致します。

声掛け、見守りの活動をしている近隣ケアグループの研修会を、8月6日(日)、内藤記念くすり博物館で開催しました。

近隣ケアグループ会員の他、自治会長、民生児童委員50人が参加し、那加楠町第二自治会近隣ケアグループの田中さんの事例に熱心に耳を傾けていました。



8/6 近隣ケア研修会

近隣ケア研修

川島地区の 近隣ケアグループ

- ① 小網近隣ケアグループ
代表者 中野正勝さん
- ② 小網近隣ケアグループひがし
代表者 荻谷博子さん
- ③ 松倉東近隣ケアグループ
代表者 平野笑子さん
- ④ 松倉中近隣ケアグループ
代表者 脇田美千広さん
- ⑤ 松倉西近隣ケアグループ
代表者 小島ひろみさん
- ⑥ 松倉南近隣ケアグループ
代表者 入佐菊代さん
- ⑦ 河田近隣ケアグループ
代表者 尾関克明さん
- ⑧ 河田西近隣ケアグループ
代表者 小野親夫さん
- ⑨ わたり東近隣ケアグループ
代表者 川瀬晴のさん
- ⑩ わたり西近隣ケアグループ
代表者 川瀬生身さん

ボランタリーハウスは家に閉じこもりがちな方には、乳幼児から高齢者まで会場へ出向いてもらつて他の方と触れ合う活動を行つてゐる事業です。

川島地区の ボランタリーハウス

ボランタリーハウス笑顔	活動場所	活動日	ボランタリーハウス笠田	活動場所	活動日	ほほえみの会	活動場所	活動日
大山貢さん	笠田町公民館	毎月第4土曜日	川瀬生身さん	渡北公民館	毎月第4金曜日	苺の会	福手弘子さん	毎週水曜日
小網町公民館	毎月第4金曜日							

6/16 渡ボランタリーハウス

●川島地区高齢化率

	川 島	市 全 体
人 口	11,530人	148,272人
世 帯 数	4,084世帯	58,562世帯
高 齢 化 率	22.56%	26.91%

平成29年4月1日現在

民生委員は国から委嘱された公務員です。任務は、乳幼児から高齢者まで住民の生活に関する相談にて行政等関係機関と連携を行うことで、必要に応じて行政等関係機関と連携を行つて対応します。

特に一人暮らし高齢者で緊急時に消防署に繋がる電話を必要とする方や家庭で常時おむつが必要として介護されておられる方ご相談ください。

太郎さん、花子さんの熱い会話

島地区社協だより 第15号

太郎さんと花子さんが
道で偶然出会いました。
高齢者が増える今日、
この時代を支える若い
二人に福祉・健康の話に
花が咲きました。

民生委員、ボランティア団体などが集まって、地域の福祉の問題点を考えていく組織だよ。子：具体的にどんなことをしているの？

四割が交付金として、さらにメニュー事業として実施した分、地区社協へ送られてくるんだよ。

花子：よく分かつたわ
ありがと。

太郎…こんにちは！

花子…あら、太郎さん、こんにちは、どこかへお出かけ？

太郎…うん、今年は自治会の班長に当たつて、これから、自治会費と社協の会費の集金に行くところだよ。

花子…それはお疲れ様ですね。でも、私、社協という名前は聞くけれど、どんなことをしているかあまりよく分からないわ。

太郎…社協は、自治会や

子供を対象とした
「映画会」、近隣ケア
研修会の開催やボラ
ンティア活動・地域
の三世代交流事業に
対して助成金などを
出しているんだよ。

花子…ううなの。今から太
郎さんが集金される
会費はそのような事
業に使われるのね。

太郎…事業の主な財源が
皆さんから協力いた
だいている会費なん
だよ。

お友達とよく一緒にいるけれど…。
花子…ええ、近くの公民館で行われている「ボランタリーハウス」に参加しているの。以前は家からあまり出なかつたんだけど、ボランタリーハウスに行くようになつてから友達ができ、ちよつとした体操もおこなつて、今はとても樂みにしているんです。
太郎…そう、友達などとお話することは健康にとてもいいみたいだね。
花子…ええ、いつまでも元氣でいてほしいわ。

民生委員、ボランティア団体などが集まって、地域の福祉の問題点を考えていく組織だよ。

花子：具体的にどんなことをしているの？

太郎：市社協の下に川島地区社協があつてね、川島地区社協では例えば、安否確認を兼

花子：…よく分かったわ。
ありがとう。

四割が交付金として、さらにメニー事業として実施した分、地区社協へ送られてくるんだよ。

健 康 寿 命^{*1}を
伸ばそ う

太郎：おばあちゃん何歳になつたんだつけ？
花子：77歳で喜寿よ。
太郎：それはおめでとう。ところで、健康寿命って知つてる?
花子：ええ、健康で生活ができる年齢でしょ。平均寿命との差が介護の世話になる期間だけど、私もそんなのいやだわ。食事に気をつけたり、運動したりして健康寿命を延ばすわ。

これからは地域での助け合いが大切

町村が取り組んでいるんだ。川島では「くりすり博物館」や「リバーサイド川島園」で開設してるんだよ。

花子：認知症になる人が多くなつて来ているんでしょ。オレンジカフェではどんな事するの？

次郎：認知症の人も多くの方と触れ合いを持つほか家族とかボランティアの人達が来て、いろいろな情報交換をするんだよ。

花子：家族の人やボランティアの人が参加されるのね。

次郎：一般の人でも参加できるよ。一緒に行きませんか？

花子：…そうね、行ってみるわ。将来のためにもね。

平成28年度 川島地区社協決算

◆収入の部		単位：円
科 目	決 算 額	
地区協交付金	494,000	
メニュー事業助成金	540,424	
地区協運営費助成金	30,000	
寄付金	33,350	
雑収入	10	
前年度繰越金	1,140,097	
収 入 合 計	2,237,881	

◇収入合計と支出合計の差が次年度への繰越額となります。

◆支出の部		単位：円
科 目	決 算 額	
事務費	61,409	
メニュー事業	716,130	
ボランティアハウス事業	216,000	
ふれあい交流事業	106,155	
機関紙の発行	120,000	
歳末助け合い特別事業	165,850	
食を通した生活支援事業	108,125	
メニュー外事業（学習発表会縁日）	49,018	
助成金支出	284,598	
体育振興会助成金	30,000	
地域ボランティア団体助成金	140,000	
地域事業助成金	114,598	
支 出 合 計		1,111,155

*2【認知症カフェ】
くすり博物館では毎月21日、午後1時から開催される。始めに音楽演奏などがあり、その後自由に話し合いとなる。飲み物が無料で提供される。

*1【健康寿命】

会計	水村徹之	原田晶久
監事	水野三郎	原田晶久
福祉推進員	間宮聰	小野親夫
評議員	川瀬生身	青井正爾
	小島廣一	川瀬智美
	杉本直子	松尾勇夫
	小島祥司	伊藤和夫
	小島豊彦	脇田正博
	岩田昭二	尾関富良
	田中秀信	高橋美香
	後藤優子	平野笑子
	永田康子	入佐菊代
尾関克明	小島ひろみ	薄井操
大山貢	小島隆英	小島隆英
小川清文		